



▶高齢者軽スポーツ大会から

平成14年 第3回定例会 平成13年度各会計の決算を認定

平成14年第3回定例会は、9月2日から30日までの29日間の会期で開催しました。市長提出議案は、平成13年度府中市一般会計歳入歳出決算の認定をはじめ、府中市監査委員に関する条例の一部を改正する条例など37件を審議した結果、可決21件、認定10件、承認1件、同意5件となりました。議員提出議案は「住民基本台帳ネットワークシステムの稼働凍結に関する意見書」を審議し、否決となりました。また、陳情4件を審議しました。

一般会計決算 歳出総額750億円 各事業を積極的に展開

平成13年度一般会計歳入歳出決算は、予算総額768億318万1000円に対し、歳入決算額は、766億9785万7000円で執行率は99・9%、歳出決算額は、750億3705万1000円で執行率は97・7%です。

また、歳入歳出差し引き額から繰越明許費5848万5000円を除いた16億232万1000円が実質収支額となります。

この議案の提案に当たり、市長から次のような説明がありました。

「本年度も恒久的減税が実施され、個人市民税が落ち込む中、償却資産にかかる固定資産税を中心に、市税全体では、増収となった。

歳出については様々な施策を展開する中、契約差金等の執行抑制や経常経費の節減など、内部努力を行うことにより収支の均衡を保つように努めてきた。

施策の主な成果は、保育所入所定員の増員やファミリーサポートセンターの開設準備など、子育て支援施策を充実したほか、介護予防・生きがい対策として地域デイサービスを実施し、更に精神障害者地域生活支援センターを開設したほか、ISO14001の認証取得などを行った。

また、府中駅南口再開発事業の進展や道路の新設・改良工事、公園の整備など都市基盤の充実に努める一方、健康、環境、教育、文化、スポーツ振興

など、各分野で事業を積極的に展開し、一定の成果を得ることができた。

そして、9月19日から26日までの5日間にわたり、決算特別委員会で慎重な審査が行われました。

9月30日の本会議で、賛成、反対の討論が行われ、「将来を見据えたまちづくりや福祉、環境、ITなど時代に合った分野に予算を配分してきたことを評価するので賛成する」、「本決算は、府中駅南口再開発事業などに多くの税金を投入した一方で、福祉の見直しや市民サービスの削減を進めているので反対する」等の意見がありました。

採決の結果、賛成多数で平成13年度一般会計歳入歳出決算を認定しました。なお、9特別会計の決算についても認定しました。

(関連記事2・3ページ)

人事議案

定例会最終日の本会議に固定資産評価審査委員会委員の選任の同意を求める議案、人権擁護委員候補者の推薦及び府中市オンブズパーソンの委嘱の同意を求める議案が提出され、次の方々が同意されました。

■固定資産評価審査委員会委員

土方 康平氏(54歳)

■人権擁護委員候補者

井藤 篤子氏(64歳)

田中 清美氏(53歳)

■府中市オンブズパーソン

宮本 倫好氏(72歳)

露木 肇子氏(45歳)